



新選組一番隊 白河落出身

沖田イラ

Shirakawa-r
ekimachi@ar
k.ocn.ne.jp

ども寄附金と東北関東
大震災障害者救援本部
に百五十円ずつ、「一
歩」一枚につき同寄附
金とあしなが育英会
(東日本大震災・津波
遺児支援)に百五十円
ずつ寄付する。同店ホ
ームページhttp://
/sakananaya-im
aryyasu.com
/blog/から購入で
きる。
問い合わせは同店
0247(46)3802
へ。

ふくしま応援ニュース

矢祭の小料理「さかな家」

手ぬぐい2作目発売

売り上げ被災した子らに

絆

きずな

矢祭町東館の小料理「さかな家」は売り上げの一部を東日本大震災で被災した子どもや障害者に贈る「ふくしま手ぬぐい」の二作目を七月から発売した。

（東京在住）に声を掛け、昨年六月に一作目の「初代」を発売した。「初代」は放射線による被害を受けた県内の野菜や果物、水産物、畜産物をデザインし、県内産の食品が再び食べ

売し、これまで全国に約九百枚を販売した。二作目のタイトルは「二歩」で、「震災後、気持ち当分のままになっていく人が少なくない。一歩だけでも前に出られるようになってほしい」との丸山さんの思いを伊藤さんの手でデザイン化した。厳しい環境下でも花を咲かせるという県花のネモトシャクナゲをモチーフとし、げたの足跡から芽吹いたネモトシャクナゲが大輪の花を咲かせる構図となっている。

「ふくしま手ぬぐい」は、同店おかみの丸山美佳子さん(㊦)が震災と原発事故で心を痛めていた時期に「自分にも被災者に手助けできることがあるのでは」と考え、友人でデザイナーの伊藤由希子さん

（前作同様、店のホームページと同店などで販売しており、前作を購入した全国のリピーターの購入も多いという。丸山さんは「全国で小さな声で福島を応援してくれている人がた

前作同様、店のホームページと同店などで販売しており、前作を購入した全国のリピーターの購入も多いという。丸山さんは「全国で小さな声で福島を応援してくれている人がた



「二歩」を手にする丸山さん(右)と「初代」を手にする夫の安則さん



喜多方ラーメンを味わう家族連れ

東京の避難者に喜多方ラーメン

喜多方市のラーメン店「まるや」は二十八日、東京都江戸川区の東部区民館で区内に避

まるや